

ご参加いただいた皆さまからのギモンにお答えします！

Q1. のりわく工、アンカー工はどれくらいもつのでしょうか？

いずれも恒久的な対策工であるため、定期的な点検や維持管理をすることにより長期間もちます。

点検で異常が確認された場合は、撤去して新しくしたり、アンカー工を追加(増し打ち)したりして強化します。

Q2. どうやって施工するのですか？

法枠工は、斜面に金網で枠を作り、そこにモルタルやコンクリートを吹き付けて施工します。

アンカー工は、斜面にアンカーを差し込む穴を掘り、そこにアンカーを差し込んで、そのあと隙間を埋めて施工します。

Q3. 1 番最近に土砂災害が起きた場所と日付けが知りたい。

土砂災害はいろんなところで発生しています。

たくさん雨が降ったりすれば、起こりやすくなります。

ただし、「災害」は被害が起こったときに災害と言います。

単に山が崩れるだけでは災害とは言いません。

ですので、土砂崩れはもっといろんなところで起こっています。

(例えば、砂場に作った山に雨が降れば、小さな土砂崩れは起きますが、土砂災害は発生しないですね)

なお、大きな土砂災害については、国土交通省のホームページで

土砂災害の発生状況の情報が発信されていますので参考にして下さい。

https://www.mlit.go.jp/river/sabo/saigai_sokuhou.html

